

ご使用前に必ずお読みください

取扱説明書

パルスオキシメータ PLS-03

NURSE ANGIE

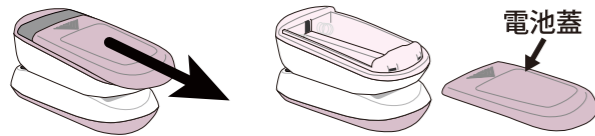
このたびはパルスオキシメータ(販売名:バイオビートオキシメータII)をお買い求めいただきまして誠にありがとうございます。
この取扱説明書は、お読みいただきました後も大切に保管してください。



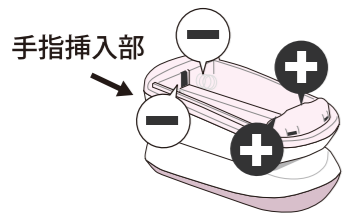
電池の挿入

ご使用中にマークが点滅した場合は、電池を交換する

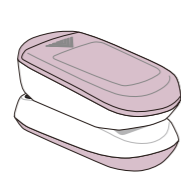
① 本器背面の電池蓋をスライドさせ電池蓋を外す。



② 指定の電池(単4形電池 2個)を極性表示を確認して挿入。



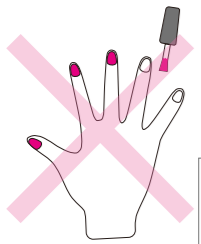
③ 電池蓋を元のように取付け。



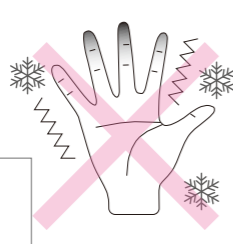
こんな時には正しく測定できません

(測定値がでない / 安定しない / 値がおかしい など)

爪にマニキュアやつけ爪をつけている
取り除いて測定する



手足が冷たい(末梢循環が悪い)
手指をマッサージして温める



手指を動かしている
測定中の指を動かさない

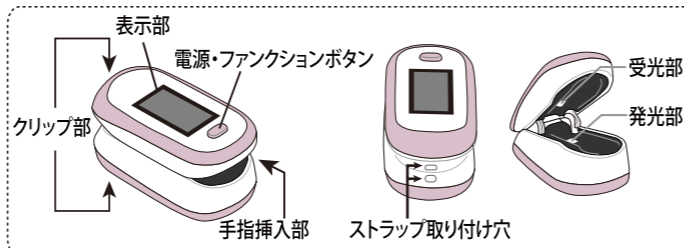


屋外など強い光の下で測定
屋外で測定する場合は日陰で

手指の挿入が不十分
手指を突き当たるまで差し込む

測る

各部の名称



手指の挿入

クリップ部をつまんで手指挿入部を開き手指を突き当たるまで差し込む



電源を入れる

「電源・ファンクションボタン」を押すと「ピッ」と鳴って電源が入る

動脈の血流が検知できると測定値が表示されます。

〔注意〕

- 装着直後ではなく脈波が安定している事を確認した後に測定値を読み取ってください。
- 測定中、脈波が不安定で検出できないと表示部に不安定マーク(?)が表示されます。

不安定マーク「?」について

「?」が一定時間(目安として20~30秒)以上継続して表示される場合、手指がきちんと機器に装着されていない、指先の冷えやむくみ、外乱光などの影響により正しく測定ができていない可能性があります。裏面の「測定および、測定前後で注意すること」を確認の上、再測定することで正しく測定ができます。

測定結果を確認する

不安定マーク 脈波が不安定で検出できないと表示されます

電池残量

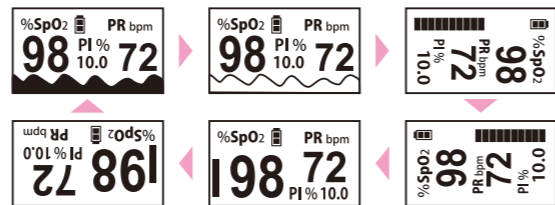
＜表示部＞

酸素飽和度 (SpO₂) 98 PI% 10.0 PR bpm 72

脈波波形 動脈の血流が検知できると表示されます

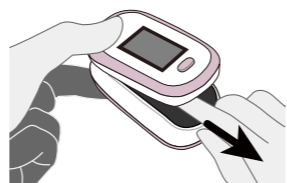
灌流指標 (PI)

測定中に「電源・ファンクションボタン」を押すごとに画面の表示向きを変えることができます。



手指を抜く

クリップ部をつまんで手指挿入部を開き手指を抜く。「Finger out」が表示され、約7秒後に電源が切れる。



パラメータを設定する

設定画面で約30秒無操作状態が継続すると、自動的に測定画面に戻ります。

- 本器の電源が入った状態で約1秒間、「電源・ファンクションボタン」を押し続けるとパラメータの設定画面(「Setting」画面)が表示されます。
- パラメータを変更する際は、「電源・ファンクションボタン」を押し、「▶」を変更するパラメータに移動した後に約1秒間、「電源・ファンクションボタン」を押し続けると変更されます。
- 「Setting」画面で「▶」を「Setting」に移動した後に約1秒間、「電源・ファンクションボタン」を押し続けると「Alm Setup」画面に切り替えることができます。「Alm Setup」画面で「▶」を「Alm Setup」に移動した後に約1秒間、「電源・ファンクションボタン」を押し続けると「Setting」画面に切り替えることができます。
- 「▶」を「Exit」に移動した後に約1秒間、「電源・ファンクションボタン」を押し続けるとパラメータの設定が終了し測定画面に戻ります。

＜「Setting」画面での設定＞

〔Alm(警報表示)設定〕

酸素飽和度(SpO₂)の測定値が下限設定値以下になった時、脈拍数(PR)の測定値が上限設定値以上又は下限設定値以下になると測定値が点滅します。

〔Sound(脈拍音、警報音)設定〕
脈拍の表示にあわせて脈拍音が鳴ります。

酸素飽和度(SpO₂)の測定値が下限設定値以下になった時、脈拍数(PR)の測定値が上限設定値以上又は下限設定値以下になると警報音が鳴ります。

「電源・ファンクションボタン」を押すと警報音が止まります。警報音が止まった後、以下の状態では再び警報音が鳴ります。

- 約30秒経過をしても測定値が各設定値以上または以下の場合
 - 「電源・ファンクションボタン」を押して画面を切り替えた際に測定値が各設定値以上または以下の場合
- AlmとSoundの組み合わせは以下のようになります。

| AlmとSoundの組み合わせ | 警報表示 | 脈拍音 | 警報音 |
|--------------------|--------|-------|-------|
| Alm:Off, Sound:Off | 点滅しません | 鳴りません | 鳴りません |
| Alm:On, Sound:Off | 点滅します | 鳴りません | 鳴りません |
| Alm:Off, Sound:On | 点滅しません | 鳴ります | 鳴りません |
| Alm:On, Sound:On | 点滅します | 鳴ります | 鳴ります |

| Setting | Reset |
|-------------|-------|
| ▶ Alm Sound | On On |
| Bright Exit | 4 |

| Setting | Reset |
|-------------|-------|
| ▶ Alm Sound | On On |
| Bright Exit | 4 |

〔表示部の明るさの設定〕

「Bright」を「1」～「5」に可変することにより、表示部の明るさを5段階に変更できます。「1」が最も暗く、「5」が最も明るくなります。

| Setting | Reset |
|---------------|-------|
| ▶ Bright Exit | 4 |

〔設定値の初期化(お買い上げ時の状態に戻す)〕

「▶」を「Reset」に移動した後に「電源・ファンクションボタン」を長押しすると「Yes」「No」が交互に表示されます。

「Yes」が表示された状態で「電源・ファンクションボタン」から一度指を放し、再度「電源・ファンクションボタン」を押すと、全ての設定がお買い上げ時の状態に戻ります。

| Setting | Reset |
|-------------|-------|
| ▶ Reset | On |
| Alm Sound | On |
| Bright Exit | 4 |
| | Yes |

＜「Alm Setup」画面での設定＞

〔酸素飽和度(SpO₂)の下限値と脈拍数(PR)の上限値、下限値の設定〕

「SpO₂ Lo」にて酸素飽和度(SpO₂)の下限値を設定します。また、「PR Hi」にて脈拍数(PR)の上限値、「PR Lo」にて脈拍数(PR)の下限値を設定します。

測定値が上限設定値以上又は下限設定値以下になると警報音が鳴り、測定値が点滅します。上限値、下限値の設定時、「電源・ファンクションボタン」を押し続けると値が連続して変化します。「電源・ファンクションボタン」から指を離すと値が確定します。

| Alm Setup | 1.0.0 |
|-----------|-------|
| +/- | + |
| ▶ SPO2 Lo | 90 |
| PR Hi | 100 |
| PR Lo | 60 |
| Exit | |

「+/-」にて各値を設定する際に数値を増やすか、減らすかを設定できます。「+」に設定すると数値を増やしながらか各値が設定できます。「-」に設定すると数値を減らしながらか各値が設定できます。

設定が終わったら、必ず「▶」を「Exit」に移動させ、「電源・ファンクションボタン」を押し続けてパラメータ設定を終了してください。

※「PR Lo」は「PR Hi」より低い値を必ず設定してください。誤った設定を行うと警報表示や警報音が意図しない動作をします。

| Alm Setup | 1.0.0 |
|-----------|-------|
| +/- | + |
| ▶ SPO2 Lo | 90 |
| PR Hi | 100 |
| PR Lo | 60 |
| Exit | |

必ずお守りください

パルスオキシメータは精密部品です。乱暴な取り扱いをしないでください。



落下
振動
過度の過重
故障の原因になります。

手指挿入部は必ずクリップ部(「電源・ファンクションボタン」と反対側)をつまんで開いてください。



クリップ部をつまみずに対称側を無理に開くと故障の原因になります。

株式会社カスタム

〒101-0021 東京都千代田区外神田 3-6-12
TEL:03(3255)1117 FAX:03(3255)1137
https://www.kk-custom.co.jp/

お問い合わせ窓口電話
03-3255-1117

受付時間
9:00~17:30
(土、日、祝日を除く)

製品に関するお問い合わせは、接続後「2」番を押してください。
※ カイダンスの途中でも操作可能です。

